



Silk Central 20.0

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 2004-2019 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Central は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2019-05-08

目次

Silk Central 20.0 リリース ノート	4
Silk Central 20.0 の新機能	5
管理	5
テスト	5
実行計画	6
アクティビティ	6
統合	6
Microsoft Windows Server 2019 のサポート	6
Microsoft SQL Server のサポート	6
システム要件および前提条件	7
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	9
Micro Focus へのお問い合わせ	10
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	10
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	11
サポートの終了	13
予定されているサポートの終了	14

Silk Central 20.0 リリースノート

バージョン 20.0

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 20.0 の新機能

Silk Central 20.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

管理

カスタマ フィードバック

Silk Central 20.0 以降では、*Silk Central* 向上プログラムに参加できます。このプログラムに参加し、テスト管理エクスペリエンスの向上にご協力をお願いします。このプログラムに参加すると、このインスタンスのユーザーによるソフトウェアとサービスの使用方法に関する情報を Silk Central が収集し、その傾向と使用方法のパターンの識別に役立っています。

次のことは行いません：

- 名前、住所などの個人の特定を可能にする情報の収集
- すべてのコンテンツ関連データの収集
- スクリプト、パスワード、その他のデータ ファイルの収集
- 作業の妨げとなるメッセージの表示

セキュリティの強化： ローカルホストの強制使用

Silk Central 20.0 以降では、フロントエンド サーバー、アプリケーション サーバー、チャート サーバーの JMX サービスにリモートからアクセスできないようにするため、デフォルトではマシンのアドレスをループバック アドレス (127.0.0.1) に制限されるようになっています。

また、アプリケーション サーバーとチャート サーバーのサービスは、通常、ローカルのフロントエンド サーバーによってのみ使用されるため、新しいインストールでは、これらもループバック アドレスに制限されるようになっています。

セキュリティの強化： 実行サーバーとのセキュアな通信

Silk Central 20.0 以降では、Silk Central 実行サーバーのセットアップからインストールを実行する際に、セキュアな通信を選択できるようになりました。Silk Central 実行サーバーのセットアップで、*Enable secure communication* をオンにすると、ユーザーの Silk Central サイトからダウンロードできるキーストア ファイルを指定する必要があります。キーストア ファイルは、Silk Central データベースを使って作成され、アプリケーション サービスの証明書と実行サービス用の秘密キーが含まれます。実行サービスを開始すると、一致する秘密キーを持つアプリケーション サービスだけが、その実行サービスと接続することが許可されます。

セキュアな通信をオンにして実行サーバーをセットアップすると、Windows ファイアウォールのセキュアポート 19125 だけがオープンされます。実行サーバーの JMX サービス (ポート 18144) は利用できません。

テスト

ビジネスプロセス テスト

Silk Central 20.0 では、ビジネス コンポーネントに対して入力パラメータと出力パラメータを定義できます。これらのパラメータを使うと、ビジネス コンポーネント間における情報フローを定義して、実際の事業部門間における情報フローをエミュレートできます。たとえば、ある部門 (ビジネス コンポーネント) が

システムで注文を発行し、その注文番号を後続の部門（ビジネス コンポーネント）の入力として渡すことができます。

ビジネス プロセス テスト： Office インポート

Silk Central では、Excel からビジネス プロセス テストをインポートできます。

実行計画

ビジネス プロセス テスト： 進行状況

Silk Central 20.0 では、ビジネス プロセス テストの進行状況を把握しやすくなりました。今までの集約した 1 つのステータスではなく、合格、失敗、未実行 セクションに分かれた棒グラフとしてステータスが表示されます。

アクティビティ

複数実行計画の再実行

最近の実行 領域で複数の実行計画の実行を選択して、コンテキストメニューから [実行計画の実行] を選択すると、選択したすべての実行を再実行できるようになりました。

統合

Atlassian JIRA 8 のサポート

Silk Central が Atlassian JIRA 8 をサポートするようになりました。

AccuRev 7.2 のサポート

Silk Central が AccuRev 7.2 をサポートするようになりました。

Microsoft Windows Server 2019 のサポート

Silk Central が Windows Server 2019 をサポートするようになりました。

Microsoft SQL Server のサポート

Silk Central では、Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3、および Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 2 がサポートされるようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 テスト済みおよびサポートされているソフトウェア 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー : 500 MB
- アプリケーション サーバー : 300 MB
- チャート サーバー : 200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
2803621	625594	テストユニットの グリッドビュー と ドキュメントビュー で、テストの現在のステータスと前回のステータスについての詳しい情報を提供して欲しい
2856196	1104113	Jenkins プラグインでの複数使用をサポートして欲しい
2874298	1106533	要件、テスト、テスト コンテナ、フォルダの削除時の監査ログを記録して欲しい
3116506	1110428	手動実行計画 ウィンドウの フォルダ ツリーで複数選択とキーボード操作をサポートして欲しい
3118473	1110608	テストと割り当て済み問題間のリンク削除時の警告メッセージを分かりやすくして欲しい
3125418	1111275	テストの結果クリーンアップ ルールでより長い結果保持期間を設定したい
3151195	1113671	結果クリーンアップ ルールを以前に実行した計画のバックログに対して実行して添付ファイルを削除したい
3153885	1113912	手動テスト結果レポート：クローズした問題と解決した問題を非表示にしたい
3176940	1115945	実行計画がスケジュールした順番に実行されない（利用可能な実行サーバーを待機中）
3177012	1115873	「This thread already owns a connection...」 エラーの修正
3176940	1115945	実行計画がスケジュールした順番に実行されない
3182313	1116417	使用していない Issue Manager 受信箱を非アクティブにしたい
3187740	1116679	テスト メソッドにパラメータがある場合、JUnit 5 で実行されない
3190993	1116950	Silk Central 17.0 からインポートしたレポート テンプレートが Silk Central 19.0 以降で機能しない

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central20.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 4.4、5.x、6.x、7.x、8.x、9.x (モバイルデバイスのテスト)
- iOS 9.3、10.x、11.x、12.x (モバイルデバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 以降の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2017
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポートされません。
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)。Oracle RAC はサポートされません。

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 7.2
- Caliber 11.4、11.5
- Mobile Center 2.51 以降
- Silk Performer 20.0
- Silk Test 20.0
- StarTeam 15.x、16.x、17.0
- Silk TestPartner 6.3
- Unified Functional Testing (UFT) 14.0

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 6、7、8
- Atlassian JIRA Agile 6、7、8
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.20.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョン
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- SAP Solution Manager 7.2
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

サポートの終了

このトピックでは、Silk Central 20.0 でサポートされなくなった機能を示します。

Rally マッシュアップ

Rally マッシュアップは、Silk Central 20.0 でサポートされなくなりました。

Silk Central Connect

Silk Central Connect は Silk Central 20.0 ではサポートされなくなりました。

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

オペレーティング システムのサポート

以下のオペレーティング システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 7 (実行サーバー)

データベース管理システムのサポート

以下のデータベース管理システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Oracle 11g

要件管理システムとの統合

以下の要件管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Caliber
- IBM Rational DOORS
- Atlassian JIRA 6
- Atlassian JIRA 7
- VersionOne Enterprise Edition
- CA Agile Central

問題追跡システムとの統合

以下のサードパーティ製問題追跡システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Atlassian JIRA 6
- Atlassian JIRA 7
- Bugzilla 4.4.13
- IBM Rational ClearQuest
- Team Foundation Server 2015

ソース管理システムとの統合

以下のサードパーティ製ソース管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Team Foundation Server 2015

クラウドとの統合

以下のサードパーティ製クラウドとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- VMware vCloud

モバイル デバイス プロバイダとの統合

以下のサードパーティ製モバイル デバイス プロバイダとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Sauce Labs

Microsoft Office インポートとの統合

以下の Microsoft Office インポートとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Office Word (.doc)